

錦糸町わくわく通信

2021.3
第33号

●お問合せ●
東都よみうり新聞社
TEL.03-6663-9010

コロナに負けず働くあなたに “ありがとう”

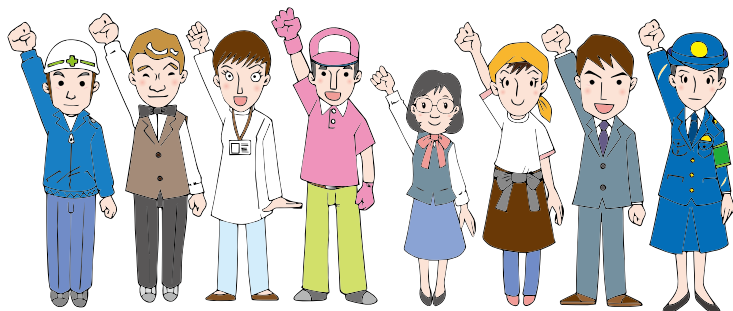
錦糸公園でエッセンシャルワーカーの皆様へ感謝と応援の灯りを

コロナ禍の日常から1年が過ぎました。

今でも安心できる状況にはなっていない中で、医療、福祉、小売業、物流やライフラインの仕事に携わる人々は社会の動きを止めないように毎日懸命に働いています。

「錦糸町を元気にする会」では、3月から4月にかけて錦糸公園でブルーライトアップを行います。

エッセンシャルワーカーの方々への感謝と応援の気持ちをこのまちで暮らす人々、働く人々、訪れる人々と共有しつつ、一日も早い終息を願いたいと思います。



◎ブルーライトアップについて

【主催】 錦糸町を元気にする会／錦糸町地域の町会・自治会

【後援】 墨田区

【日時】 「錦糸町を元気にする会」Facebookでお知らせします

【場所】 錦糸公園入口道路および芝生広場等

「ありがとう・がんばって」を様々なかたちで

東武ホテルレバント東京は2月15日から約3週間、医療従事者への感謝と応援の気持ちを込めて、墨田区内の二次救急病院に「ありがとう弁当」を届けました。



【丸井錦糸町店】

「味の本所小路」3月15日にリニューアルオープン!

丸井錦糸町店1階の和洋菓子売場「味の本所小路」のフロアが広がります。

「ブルーミッシュ」「寛永堂」など7店舗が新たに加わり、計19店が普段使いの食べ切りサイズから贈答用まで様々な商品を揃えてお客様をお待ちしております。



新たにオープンする店舗

- ・フーシェ(洋菓子)／尾張松風屋(和菓子)
- ・シナボン(シナモンロール専門店)
- ・ダロワイヨ(フランス菓子・パン)
- ・寛永堂(和菓子)
- ・がんこ職人(米菓)
- ・ゴンチャロフ(洋菓子)／kelly(洋半生菓子)
- ・ブルーミッシュ(洋菓子)

【問い合わせ】丸井錦糸町店 ☎(代表)03-3635-0101

【すみだストリートジャズフェスティバル】 開催日程決定! 今年も11月に!

2021年の「すみだストリートジャズフェスティバル」は熱中症およびコロナ感染対策を考慮して11月6日(土)、7日(日)に開催することを決定しました。8月15日(日)は、すみだトリフォニーホールを使用して「すみだジャズ」のプレイベントを行います。お楽しみに!

**SUMIDA
STREET
JAZZ
FESTIVAL**

【新日本フィルハーモニー交響楽団】

ファミリーコンサート2021 [0歳からのパントマイム・オーケストラ] 宮川彬良×新日本フィルハーモニー交響楽団 オケパンV「ショウほど素敵な商売はニャー!!」

大人も子供もみんなが楽しめるコンサート、それが「オケパン」です。
毎年大人気の「オケパン」は、「オーケストラ」の音楽に「パントマイム」が加
わった、とってもユニークな演奏会。

【主催】新日本フィルハーモニー交響楽団 すみだトリフォニーホール

【日時】4月3日(土)11時開演、15時開演、

【会場】すみだトリフォニーホール

【曲目】フニクリ・フニクラ

トランペット吹きの休日、ラジオ体操 ほか

【指揮・ピアノ】宮川彬良

【出演】miyacawa Ari、吉岡朋子

【チケット】全席指定：¥2,000

ひざ上親子席：¥2,500(大人1名+2歳以下のお子様1名)

墨田区在住・勤・学の方 全席種¥500引き(新日本フィル・チケッ
トボックスお電話のみの取扱い)

【問い合わせ】新日本フィル・チケットボックス ☎03-5610-3815

(営業時間 月～金：10時～18時、土：10時～15時、日祝：休)



(C)堀田力丸

【東京楽天地・錦糸町PARCO・アルカイスト ほか】

グルメ3スタンプラリー

楽天地ビル、錦糸町PARCO、アルカイスト、カルムガーデン錦糸町(楽
天地ビル隣)の異なる3店舗の飲食店でスタンプを集めよう!税込600円
以上の利用で対象店舗で使える500円分のグルメ券をプレゼント!

詳細は楽天地ビルホームページ(<https://www.rakutenchi.co.jp>)を
ご覧ください。

スタンプ押印期間：3月 1日(月)～3月30日(火)

グルメ券引換期間：3月23日(火)～3月31日(水)

グルメ券有効期間：3月23日(火)～4月25日(日)

※グルメ券引換が10,000枚に達し次第、期間中でも終了します

錦糸町の

語り部たち

町の重鎮に聞く土地の記憶

第4回(後編)

※このコーナーでは昭和から平成、令和にか
けて錦糸町の変化を見てきた町の重鎮の
方々に思い出を語ってもらいます。シリーズ
第4弾は、錦糸町駅周辺再開発における地
域の代表として活躍した錦糸三和町会・
清水敏夫町会長のお話です。



清水 敏夫さん(73)

(錦糸三和町会長、
有限会社林屋酒店代表)

——大型商業施設、オフィスビル、文化施設が並び錦糸町駅北口再開発の
経緯について教えてください。

清水：錦糸町駅北口の再開発は、中曽根首相の「民活」構想に基づいた交
通要地の再開発の一環として新宿、梅田とともに錦糸町が挙げられた
ところから始まりました。地権者の9割が国鉄だったことで3都市のう
ち錦糸町が最初に進められましたが、軌道に乗ってきた矢先に1987
年の国鉄分割民営化となり、再開発をめぐる状況も全く変わりました。

——どのように変わったのですか？

清水：事業主体が再開発組合方式となり墨田区が事務局を担ったことが大
きかったです。それまではいわば“お上”が主体となっていたので建設
省や運輸省の役人たちが頭越しに進めていき、地域住民には決定事
項のみ知らされるような関係でした。墨田区の仕切りになってからは
区職員の担当者となり取りする中で人間関係が築かれていき、地
権者や住民の視点も取り入れた開発の方向に進んだと思います。

——清水さんはどのような立場で再開発に関わっていたのですか？

清水：きっかけは、都市計画法について自分なりに勉強した時に地域住民が意
見書を提出できることを知ったことです。住民の署名を集めて意見具申
の体裁を整え、地域代表として都市計画決定のタイミングで墨田区に
提出しました。町会の窓口となって諸々の手配を行ったことで「錦糸町北
口再開発対策協議会」の事務局としてその後も区との交渉にあたりまし
た。それぞれに立場があるので板挟みになることもありましたが、地権者
となった住民のほとんどが納得する形で完成まで進めることができ、区
が主体となって進んだことは結果的に良かったと思っています。

——現在の錦糸町をどのようにご覧になっていますか？

清水：丸井錦糸町店開業時のキャッチコピーが「これから錦糸町」でした。ま
さにその後は楽天地、北口一帯、半蔵門線開通と開発が続く、外から
の資本で町が発展してきた点は恵まれていたと思います。ハード面を
十分作ってきた中で今後はソフトの部分の部分をいかに盛り上げていくかが



大事になりますが、「錦糸町を元気に
する会」は、実際に動いてくれる人た
ちが集まっており、町会主催だった錦
糸公園の桜まつりの運営も引き継い
でくれてありがたく思っています。勤
めている人が錦糸町を盛り上げよう
とする意気込みに期待しています。

(2020年10月15日取材)